

「早くできないかとみんなしびれをさらして待ってましたよ」と伊藤さん夫妻(二ノ町)



昨年8月末に黒崎荘が閉館してから、白根の白寿荘や亀田や巻の施設を利用していました。新しい福祉センターでもなごやかにやりたいですね。利用して今日も楽しかった、それでいいと思うんですよ。(ミセさん・73歳) 大広間で重いテーブルを年寄りに運ばせるのはやめてほしいですね。ケガの元ですよ。黒崎以外はどこもテーブルは置きっ放しでしたから、新しい老人福祉センターもそうしてほしいね。(忠太郎さん・77歳)

皆さんお待ちせしま

これが老人福祉センターの浴室です

取り壊した老人憩いの家のお風呂と同じように、新しくできた老人福祉センターでも緒立鉱泉からひいた水をわかつて使います。浴槽は老人憩いの家の1.5倍に増えました(写真は男湯。女湯も同じ広さ)。浴室のほかにも100畳の大広間、10畳の個室が6室あるほか、ねたきりの方たちに入浴・食事サービスをするデイサービスセンターを併設します。施設の内容や利用方法については、この広報紙の2ページと3ページをご覧ください。



あなたと
町をつなぐ
広報

くるさき

1991
4
No.331

石田トシミさん(中学通・55歳)は4月からデイサービスセンターの介助員を勤めます。



デイサービスセンターでは運転手、調理員、寮母など8人がねたきりのお年寄りの皆さんの入浴や食事などのサービスをします。私の仕事はお風呂からあがったあと、体をふいたり服を着せたりすることなんです。デイサービスセンター職員としての仕事はみんな初めてなので、みんなでいっしょにお年寄りの世話をしながら勉強していかなくてはと話合っているとこです。今日は特殊浴槽の扱い方を教えてもらいました。

した

緒立の老人福祉センター
デイサービスセンターが完成

黒崎荘から引き続いて老人福祉センターの管理人を勤める久住恵造さん(緒立・63歳)

黒崎荘では料金の徴収、風呂をわかすこと、それから館内の見回りが主な仕事でした。勤め始めて1年半くらいで黒崎荘が取り壊されたので、風呂のボイラーなんかは当然型の新しいものになっているでしょうから、勉強のし直しですね。新装なった老人福祉センターでも同じ仕事をするようになるでしょう。老人福祉センターを利用される皆さん、よろしくお願ひします。私も気持ちよく利用していただけるよう、がんばります。

